

平成21年度 学校評価（自己点検・自己評価）

学校法人文化長野学園 文化女子大学長野専門学校

チェック欄：○→適切、△→補足説明や若干の修正を要する、×→改善を要する

1 教育理念・目的・育成人材像		評価
1	理念・目的・育成人材像は定められているか。	○
2	学校の特色はなにか。	○
3	学校の将来構想を抱いているか。	○
<p>【概評】理念・目的・育成人材像は、全学生（家庭）に毎年配布する学生便覧（P.3～P.4）に明示されている。また、本校の教育の特色も同じく学生便覧（P.9）に明示されている。</p> <p>将来構想については、男女共学を見据えた校名変更を考えている。</p>		

2 学校運営		評価
4	運営方針は定められているか。	○
5	事業計画は定められているか。	○
6	運営組織や意思決定機能は、効果的なものになっているか。	○
7	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。	△
8	意思決定システムは確立されているか。	○
9	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	○
<p>【概評】5月の定例教授会に、各担当から運営方針や事業計画の案が提出され、教授会での審議を経た後、その方針や計画に従って実行している。しかし、それらが理事会や評議員会にかけられることはない。運営組織については、寄付行為や学則は整えられており、学則変更については、教授会、評議員会、理事会の、また寄付行為については、評議員会、理事会の審議を経て決定している。</p> <p>人事の処遇に関する制度は確立されていないが、校長・副校長の合議に基づき、理事の許可を得て決定している。賃金の処遇に関する制度は、法人事務局に規約書が保管され、給与・賞与等に関わる具体事項は、教職員組合との交渉により決定している。</p> <p>意思決定システムは、組織の役割が明確で、本学園及び本校の運営、組織や権限及び職務によって定められており、日常的な運営の中でシステムがきちんと備わり、機能している。</p> <p>平成13年から他校に先駆けて校内イントラが整備され、伝達事項はイントラ上の連絡ボードを使用し、各種データも集中管理している。</p>		

3 教育活動		評価
10	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか。	○
11	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか。	○
12	カリキュラムは体系的に編成されているか。	○

13	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか。	△
14	授業評価の実施・評価体制はあるか。	△
15	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	○
16	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	○
17	資格取得の指導体制はあるか。	○

【概評】文部科学省、厚生労働省より指示された目標や育成人材像を踏まえつつ、保育・福祉現場の人材ニーズに対応したカリキュラムを編成している。保育士・幼稚園教諭免許、介護福祉士は卒業と同時に取得できる資格や免許であるので、卒業生全員がそれらを取得できるようなカリキュラム編成になっている。シラバスについても、来年度よりHP上で公開する予定である。

カリキュラム編成委員会等は設置しておらず、基本的には各教科担当教員に任せている。年度当初、紙面にて、また、5月に全教職員を招集し、直接本校の理念・目標からカリキュラム編成に関する考え方を説明している。

学生からのアンケートによる授業評価を実施しているが、その結果を学校がチェックすることはなく、担当教員がそれぞれに平均値と比較して自己評価し、自己改善をはかるように促している。本校の研究紀要を年一回発刊し、また、授業公開を奨励して、授業改善に取り組むように心がけている。

本校の特長の一つである「現場主義」に基づき、現場で活躍した人、実務経験が豊富な人、資格を有している人たちを多数教員として迎えている。またできるだけ数多く、現場で活躍している方々を講師として招聘した講義を実施している。

卒業要件（単位数）を明示しており、厳密に成績評価・単位認定をしている。さらに来年度は、GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度の導入を検討していく。

本校は卒業と同時に全員が保育士、幼稚園教諭、介護福祉士の資格や免許を取得でき、また、社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験に合格できるようなカリキュラムを編成している。各学科ともに、それら資格・免許取得を目標に取り組んでおり、成果を上げている。

4 教育成果

		評価
18	就職率（卒業者の就職率、求職者就職率、専門就職率）の向上が図られているか。	○
19	資格取得率の向上が図られているか。	○
20	退学率の低減が図られているか。	○
21	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	△

【概評】本校は専門職就職率（資格や免許を使っての就職）100%を目指している。それも、卒業生全員の100%を目指している。本年度は介護福祉専攻科から1名が一般職へ就職したが、それ以外の全員が専門職への就職を実現した。ここ15年を平均しても97%以上の卒業生の専門職への就職率を実現している。これは全国的にみても驚異的な数字といえよう。また、過去に卒業した本校出身者の再就職についても積極的に斡旋している。

資格取得率も、卒業生全員の専門職就職率100%を目指していることから、当然100%を目指している。本年度は、1名が保育士資格を取得できなかったが、次年度の科目等履修生の手続きを済ませており、次年度には取得する予定である。

本校の特長でもある「少人数制による面倒見のよさ」から、中途退学者はここ10年の平均で、年間1～2名であり、退学者の少なさでも定評がある。

卒業生へは、文化祭をはじめ、保育科では毎年12月に実施する卒業共同研究（創作ミュージカル）へ案内や招待状を送付している。小規模校で面倒見がよいことが功を奏してか、卒業生が頻繁に学校に立ち寄ることも定評がある。ただ、組織的に卒業生の活躍や動向を把握することはしていない。

5 学生支援

	評価
22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか。	○
23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか。	○
24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか。	△
25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか。	○
26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか。	○
27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。	○
28 保護者と適切に連携しているか。	○
29 卒業生への支援体制はあるか。	○

【概評】学科長が中心となって各学科で就職・進学指導に関する体制は整備してある。それらが有効に機能し、本校の高い専門職への就職率を維持している。

教育相談係並びに相談室を設置し、有資格者がカウンセリング行うシステムが定着してきた。各学科との連携もスムーズにっており、有効に機能している。

日本学生支援機構の貸与奨学金について毎年斡旋している。また、介護福祉士を目指す学生には、長野県社会福祉事業団の介護福祉士等修学資金貸与の奨学金を斡旋している。学費の分納や延納の願いが出た場合には、話し合いでその希望に応じた納入を認めている。学校独自の奨学金制度はない。

内科検診やレントゲン検診、検便等の諸検査を実施している。高等学校と共有の保健室があり、看護師の資格、実務経験を持つ養護教諭が常駐している。

伝統のあるミュージカルクラブは、文化祭での公演のみならず、幼稚園等へのボランティア公演に積極的に出かけている。また、系列の文化学園が所有している文化北竜湖山荘（飯山市）、文化軽井沢山荘（軽井沢町）を優先的に使用して合宿や研修を行っている。大部分が自宅通学なので、学生寮はないが、必要に応じて近隣の格安アパートを紹介している。

保護者会を設定して学校に参集してもらい、学校生活、学生の様子、資格取得や就職に関することなどの情報交換を行っている。HPによる情報開示の他に、専門学校ニュースや学生の成績、各種通知をダイレクトに保護者宛に郵送している。また保護者全員による後援会を組織している。

本校卒業生でつくる飛翔会（OG会）を組織し、その事務局を学校内に設置して隔年で会報を発行している。申し出により、再就職の斡旋を積極的に行っている。

6 教育環境

	評価
30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	○
31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	○
32 防災に対する体制は整備されているか。	○

【概評】文部科学省、厚生労働省が設置認可のために必要とする施設・設備は完備されており、毎年の点検と届出もきちんと済ませている。

カリキュラムに実習やインターンシップが数多く組み込まれているのが本校の特長でもあり、その都度実習巡回指導も適切に行われている。資格取得には欠かせない実習やインターンシップではあるが、これらに対する適切な指導や充実が、高い専門職就職率につながっていると考えられる。海外研修は過去に実施していた（平成12年まで）が、授業時間数の確保、実習やインターンシップ、ボランティア等が多忙を極め、現在は中止している。

防災体制に関しては係を組織し、全校での防災訓練を実施している。

7 学生の募集と受け入れ

		評価
33	学生募集活動は適正に行われているか。	○
34	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	○
35	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか。	○
36	学納金は妥当なものとなっているか。	○

【概評】学生募集要項に基づき、募集活動は適正に行われている。キャンパス見学会を年間4回以上実施し、教育成果等を正確に伝えるように努めている。入学選考においては、卒業生全員が専門職に就くことを想定して、その養成に耐えうるだけの知識・意欲等が適正であるか判断するために、全ての入学試験（AO、推薦、一般）に小論文テストを実施している。各学科で審議した判定資料に基づき、適正かつ公正に選考が行われている。

学納金は、人件費、研究費、設備・備品費、その他、決算報告書の推移を見ながら、できるだけ学生や保護者の負担が少なくなるように設定しており、学生募集要項に金額を明示している。近隣の同資格を取得できる養成校と比較しても安価に設定されている。

8 財務

		評価
37	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	△
38	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	○
39	財務について会計監査が適正に行われているか。	○
40	財務情報公開の体制整備はできているか。	○

【概評】公認会計士による財務諸表等の会計監査により、予算や収支について計画・から運用まで適切に処理されていることが確認済みである。また、HP上で収支計算書の公開がなされている。中長期的にみての財務基盤に関しては、同じ法人内に設置されている高等学校の、現在行っている大改革がどう展開するかで、予測困難な点を残している。

9 法令等の遵守

		評価
41	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	○
42	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	○
43	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	○
44	自己点検・自己評価結果を公開しているか。	○

【概評】本校は文部科学省から幼稚園教員養成機関の指定を受けており、5年毎にその申請をしている。本年度がその年に当たったが、法令・設置基準等を遵守し、適正な運営がなされているということで、無事認可が得られた。同じく、厚生労働省から、指定保育士養成施設、介護福祉士養成施設としての設置認可も受けており、そのための自己点検を毎年実施し、結果を関東信越厚生局長

へ報告している。問題点があればその都度改善している。

今回、さらに公正な学校運営、適切な教育が行われているか自己点検し、自己評価をHPで公開することにした。

10 社会貢献

		功
45	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。	○
46	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	○

【概評】地域の人たちを対象にした介護福祉講習会、有資格者を対象とした介護技術講習会などを、本校独自に企画したり、県などの依頼を受けて実施している。また、保育科の卒業時に実施する卒業共同研究発表会「創作ミュージカル」を地域に無料で公開し、ここ10年来、1000名を越す入場者を数えている。

全校をあげて長野車いすマラソン大会のボランティアに第1回目より毎年参加し、開会式の運営から選手アテンダントまで幅広く活動をしている。他にも様々なボランティアに参加している。

※ この自己点検・評価に際しましては、「特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構」のひながたを利用させていただきました。